



リハビリテーション部

作業療法士 主任

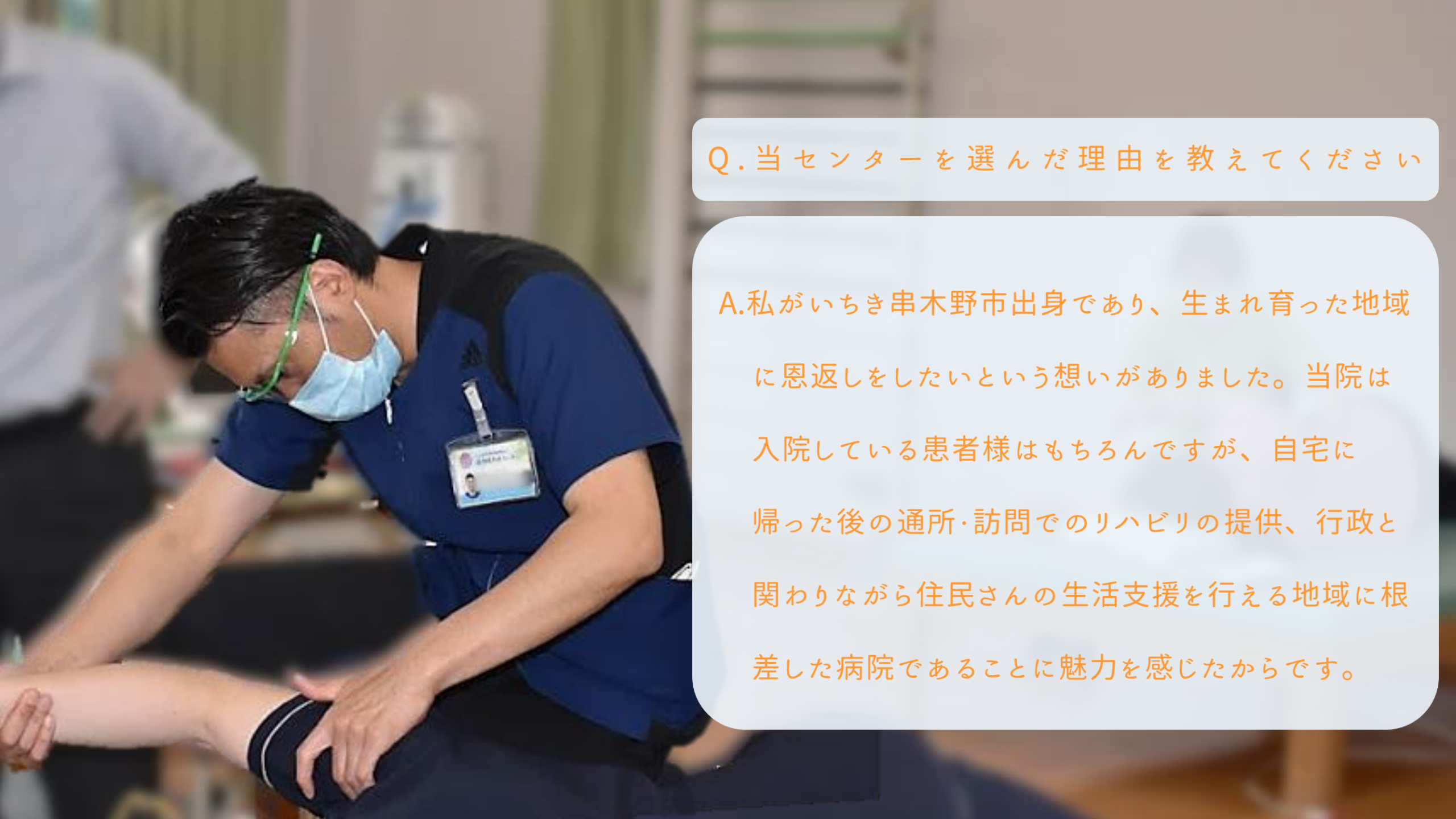
2016年勤務



これまでの経歴

2008年に作業療法士免許を取得し、
県内の総合病院に8年間勤務する。

2016年当院に就職し現在に至る。



Q.当センターを選んだ理由を教えてください

A.私がいちき串木野市出身であり、生まれ育った地域に恩返しをしたいという想いがありました。当院は入院している患者様はもちろんですが、自宅に帰った後の通所・訪問でのリハビリの提供、行政と関わりながら住民さんの生活支援を行える地域に根差した病院であることに魅力を感じたからです。

Q. 職場の環境について



A. 患者様ファーストの考えができるスタッフが揃っていることだと思います。

患者様を一番に考えることができるスタッフを支援することが、私の役割だと考えています。

また、急性期から生活期まで一貫して患者様や利用者様と関わることも魅力と感じます。



Q.これまでの仕事で特に力を入れたこと
A.回復期病棟の機能を活性化させることです。

現在では入院された患者様が『やりたいこと、やる必要がある課題』を各専門職で支援するために、チームの運営を行っています。

『退院支援』と『病棟イベントや日中の活動量増加に向けた取り組み』をアクションの柱とし、活動と参加を見据えたゴール設定とプランニング、タイムリーなリハ・病棟でのADLのすり合わせ、リハ以外の時間を利用した病棟訓練やベランダスペースでの園芸活動、季節に合わせたイベント活動、地域になじみのあるころばん体操等を実施しています。



Q 今後の目標について教えてください。

A. 患者様やご家族が、安心且つ充実した入院生活であったと感じて頂けるように、各専門職の連携やリハビリテーションの質を高める支援を行うことです。そのためには画一的なリハでなく、患者様がやりたいことを支援できるよう多様な引き出しをつくることや、各スタッフが促通反復療法の提供が行えるよう現在研鑽していますので、まずはしっかり習得していきます。また、現在串木野自動車教習所と自動車運転再開支援の連携を進めていますので、運転再開に関し入院された方や地域でお困りの方を支援できる体制作りを盤石にしたいと考えています。